

研修だより NO.8

世羅町立せらひがし小学校

令和8年2月6日

《研究主題》

児童自ら学びを深める算数科授業の創造
～協働的な学びを軸とした個別最適な学びの取組を通して～

本校が目指すせらひがしっ子の姿について

1. ねらい

- 本校の教職員のベクトルを揃えるために、「自ら学びを深める」姿、「数学的な見方・考え方」を働かせている姿の具体について検討する。
- 算数科における各学年の系統性を理解し、身に付けておくべき資質能力を把握する。

2. 本校が目指すせらひがしっ子の姿とは

①「児童自らが学びを深めている」状態・姿とは？

低学年	中学年	高学年

②「数学的な見方・考え方」を働かせている姿とは？

どんな言動があれば「数学的な見方・考え方」を働かせていると言える？

低学年	中学年	高学年

個別最適な学びを取り入れた授業のスケジュール

日時	学年・単元	主な学習活動
1/16(金)④	1年 「おおきいかず」	おはじきゲームをして、2桁の数の読み方を確かめるとともに、友達と結果を比べて数の大小比較をする。
2/6(金)②	6年 「データの活用」	学級の家庭学習時間の状況をヒストグラムに表したり平均値などを求めたりして分析する。
2/12(木)② 2/13(金)④	4年 「小数のかけ算・わり算」	被乗数が1/100の位までである小数×整数の筆算の仕方を考える。
2/18(水)②	2年 「長さ②」	テープ物差しや1m物差し、30cm物差しを使っているいろいろなものの長さを調べ、問題を作る。
2/20(金)③	5年 「円グラフと帯グラフ」	自分たちで収集したデータを円グラフや帯グラフにまとめ、分析する。
2/27(金)①	3年 「三角形と角」	三角形の角の大きさの相等や大小関係について考える。
3/25(水)	単元構想交流 3学期 ICT 活用交流	実際の活動の様子や児童の変容が分かる写真、児童のノートや成果物等もまとめる。